

LPガス
人と地球にスマイルを

ちば炎の仲間

LPガスフェア2022を開催！！ LPガスを通じて保安・防災・環境等について学ぶ テーマは「LPガスの良さを楽しく学ぼう」

当協会は、令和4年10月30日（日）にイオンモール幕張新都心豊砂公園（千葉市美浜区豊砂1-1）にて「LPガスフェア2022～街と暮らしに『いいね！』を届ける～※都市ガス・オール電化の方も必見！」を開催しました。

このイベントは当協会主催の元、千葉・船橋・市川支部の合同によって運営され、協賛として（一社）防災安全協会、リンナイ㈱、㈱パロマ、デンヨー㈱、ミライフ㈱、中国工業㈱にも参加していただきました。開催日がハロウィン前日ということもあり、来場者にはお子様連れの方が多く来場されることを想定しておりましたが、想定を超えて来場者数は千人を超えました。

子供たち、延いてはそのご家族にLPガス等のエネルギーの適切な利用に関する保安啓発及びエネルギーに関する知識啓発をするため今イベントを開催し、消費者起因の事故防止や災害対応等に貢献することを目的としました。

イベントは「保安（平時）」・「防災（災害時）」・「環境等（その他）」のジャンルに分けたブースにて行いました。「保安（平時）」ブースでは、ガス乾燥機やガスファンヒーター、ガスコンロ等の最新ガス機器の展示やFRP容器と鋼製容器の持ち比べ体験を行いました。「防災（災害時）」ブースでは、LPガス発電機の稼働体験や炊き出しステーション・LPガス放出防止器立体モデルの展示を行いました。「環境等（その他）」ブースでは、普段LPガス販売店が使用している仕事道具の紹介や、高効率ガス機器の紹介を行いました。また、各ブース内に内容に沿ったクイズも用意しており、子供たちにLPガスの良さを楽しく学んでもらいました。

今イベントで一番の人気は（一社）防災安全協会による起震車試乗体験（右記写真）であり、イベント開始から終了するまで順番待ちの列が途切れることが無いほどでした。今の子供たちは大震災と呼ばれる規模の地震を経験したことが無い故に、「災害」について興味を引くことができ、この体験を通すことでイベントの主旨であるLPガスを学ぶことについて、より一層の関心をもって取り組んでもらうことができました。

今回のイベントは当協会が公益社団法人となってから初めてとなる支部合同開催での大型イベントであり、子供たちとご家族に向けてLPガスについて学んでもらう良い機会となる、とても有意義なイベントになりました。またイベントを通じて学んだ知識が、これから直面するかもしれない災害時に役立つ場面があれば幸いです。

千葉・船橋・市川支部の皆様方、お疲れ様でした。

今回開催した「LPガスフェア」は来年度以降も各支部主催にて開催予定となります。

発行
公益社団法人千葉県LPガス協会広報委員会
〒260-0024 千葉市中央区中央港1-13-1
TEL 043-246-1725
FAX 043-243-6781
E-mail : chibalgpg@chibalgpg.or.jp
https://www.chibalgpg.or.jp
毎月10日は保安の日



【大人気の起震車試乗体験！】



【家族で炊き出しステーションを見学！】



【発電機の稼働に挑戦！】



【クイズに挑戦！正解できるかな？】

業界最新情報は協会ホームページから！

お知らせコーナー 千葉県防災危機管理部産業保安課 保安対策室



本県の液化石油ガス保安行政の推進につきましては、日頃から御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

1 高圧ガス容器の移動中の事故防止について（注意喚起）

令和4年9月28日（水）、伊勢湾岸自動車道から東名高速道路へ進入する豊田ジャンクション内の上り路線において、多数のLPガス容器を積載した車両が、走行中に前方の車両との衝突を避けるため急ブレーキをかけたところ、LPガス容器が荷崩れを起こして路上に散乱し、当該容器から漏えいしたLPガスが何らかの原因で着火して、火災が発生するとともに、容器が爆発する事故が発生しました。

この事故で、LPガス容器を積載していた車両に加え、当該車両の前方に停車していた2台の車両が火災・爆発に巻き込まれ、炎上するとともに、これら2台の車両に乗車していた1名が死亡、2名が負傷する被害が発生しました。

また、他にも高速道路において多数の高圧ガス容器を積載した車両から、当該容器が荷崩れを起こして路上に落下する事故が発生しております。

高圧ガス容器を車両に積載して移動する場合は、交通法規を遵守するとともに、高圧ガス保安法令に基づき、充填容器等の転落、転倒等による衝撃を防止するため、充填容器等を荷台の前方に寄せ、ロープ等を使用して確実に緊縛するなど、移動中の事故防止のための措置が必要です。

高圧ガス取扱者におかれては、高圧ガスの移動時の危険性を十分に認識した上で、安全な取り扱い等にご注意いただきますよう、よろしくお願いいたします。

2 2022年度LPガス消費者保安月間及び高圧ガス保安活動促進週間関連行事の実施結果について

県では、標記月間及び週間の関連行事として、10月25日に高圧ガス保安大会を実施し、優良事業者や優良従業員とともに、液化石油ガス事故防止に関するポスターコンクール入賞者に対する表彰を行いました。貴協会の皆様の多大なる御協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

3 液化石油ガス事故防止に関するポスターコンクールの結果について

県内の小中学校の児童・生徒を対象に、液化石油ガス事故防止を目的としたポスターコンクールを行い、多数の応募をいただきました。厳正な審査の結果、千葉県知事賞及び公益社団法人千葉県LPガス協会会長賞を決定しました。どの作品も、液化石油ガスの事故防止を効果的に訴える力作ぞろいでした。

ここでは千葉県知事賞（最優秀賞）を受賞された作品について紹介します。

小学校高学年の部
千葉市立蘇我小学校 6年
小泉 詩絵 さん



【講評】

青と黄色を基調とした、とても目を惹く作品です。特にガスの元栓の形が丁寧に描かれていて、その開閉がわかりやすく表現されています。これを見れば、家の元栓がどの状態なのか小さな子でも自分で確認ができますね。

中学校の部
佐倉市立臼井西中学校 1年
和田 奈弓 さん



【講評】

パステル調の元気な色合いで、LPガスとの付き合い方を示してくれています。しっかり換気したり青い炎を確認したりすることなどで危険を回避すれば、生活を支えてくれる大切なパートナーとなることを伝えています。

LPガス消費者保安推進大会

LPガス安全委員会は、令和4年10月27日(木)に如水会館(東京都千代田区一ツ橋2-1-1)でLPガス消費者保安推進大会を開催しました。

本大会は、自主保安活動を推進し顕著な功績を挙げたLPガス販売事業者等を表彰することにより、保安意識の高揚を図り、以てLPガスによる一般消費者等の事故を撲滅することを目的とするものです。

表彰には、①保安優良LPガス販売事業者及び保安優良LPガス販売事業所・保安功労者の表彰、②LPガス安全委員長表彰、③リメイク運動表彰があります。

当協会からは保安優良LPガス販売事業所として、平山燃料㈱(香取支部)がLPガス安全委員長表彰を受賞されました。

また、当協会は、昨年に引き続き自主保安活動チェックシートの提出率が100%だったことから、LPガス安全委員長特別表彰を受賞しました。受賞者の皆様誠におめでとうございます。



協会長
【小倉 晴夫 氏】

平山燃料㈱
【平山 聡 氏】

第59回高圧ガス保安全国大会

令和4年10月28日(金)に高圧ガス保安協会主催、経済産業省後援による第59回高圧ガス保安全国大会が、ANAインターコンチネンタルホテル東京(東京都港区赤坂1-12-33)で開催されました。

当日は、午後1時から高圧ガス保安経済産業大臣表彰と、高圧ガス保安協会会長表彰の表彰式が行われ、午後3時15分より橘川武郎氏(国際大学副学長・大学院国際経営学研究科教授)から、「日本はカーボンニュートラルの先頭に立てる ～水素・アンモニア・LPガス～」との演題で特別講演が催され、盛会裏に大会は終了しました。

当協会からは、木内正義氏(弥六商店㈱:香取支部)が高圧ガス保安協会会長表彰の保安功労者として、受賞されました。誠におめでとうございます。



【木内 正義 氏】

(一社) 全国LPガス協会青年部代表者会議

全国LPガス協会では令和4年11月2日(水)午後1時30分よりWEBに於いて令和4年度青年部代表者会議を開催しました。

当日は、角田 憲司氏(エネルギー事業コンサルタント)による「カーボンニュートラルをはじめとする現況とLPガス業界について」の演題による基調講演から始まりました。

次に、①防災について、②カーボンニュートラルへの取り組み方についての二つをテーマとした発表が各ブロック毎に行われ、地域性や独自性のある様々な特色ある意見が発表されました。

防災については、「防災意識」を意識付けるためには定期的な社内研修会や防災訓練が大切であることや、LPガスボンベのチェーン2重掛け・ガス放出防止型張力式高圧ホースの採用・推進、災害時への備えとして炊出し機器・LP式非常用発電機の所有や食料・飲料水の備蓄、感震遮断した際のメーター復帰方法を顧客へ周知、といった意見がでました。

緊急時の迅速な連絡手段として、スマートフォンアプリ「LINE」を社内連絡網へ導入することも挙げられており、災害・被災情報の収集に活用するだけでなく、コロナ陽性者判明時の対応にも有効であった、というお話がありました。

カーボンニュートラルへの取り組み方については、エコジョーズやハイブリット給湯器、エネファームといった「高効率給湯器」による省エネ化の推進、そのためのエネファームに関するセミナーの開催・自宅兼販売店にエネファームを導入すること、LPWA(集中監視システム)を用いることによる業務合理化による軒先配送・検針を行い、燃料削減や請求書のペーパーレス化による紙資源の削減、といった意見がでました。

最後に、(一社)北海道LPガス協会青年委員会による、北海道の火育活動について現況の発表がありました。オール電化の家庭で育った子供たちへ火の大切さを教えたりするだけではなく、高齢者を対象にした火育活動も行っているとのことでした。対象とした経緯としては、お客様の高齢化や、市役所や地域包括センターから高齢者に今一度コンロの使い方教えてほしいという相談があったから、ということでした。高齢者のみで生活をしているとそのご家族が火事の心配をしてIHコンロに変えるという事例が頻繁に起こるそうです。そうすると高齢者の方はIHコンロの使い方が分からないため料理をしなくなっていき、これを原因として認知症が進むという悪循環になってしまうそうです。このため、日ごろ使っているガスコンロの使い方や、最新のコンロの安全性を説明することが必要不可欠であると考え、高齢者を対象として火育教室を開催するようになったとのことでした。

今回の会議は我々LPガス業界が避けては通れない問題を題材としたものであり、今後のLPガス業界の指標や展望を考える良い機会となるとても有意義な会議となりました。

九都県市合同防災訓練に参加して

山武支部長 安藤 泰健

10月23日(日)千葉県東方沖を震源とする大きな地震が発生。大網白里市では震度6強を想定し、九都県市合同防災訓練が白里海岸、大網白里アリーナ、市立大網病院等で実施されました。千葉県LPガス協会山武支部では当訓練に県協会事務局の石井様と米川様の協力のもと支部のメンバーと参加をしました。

当支部は、大網白里アリーナにてLPガス車の展示、LPガス発電機の稼働、FRP容器の普及に向けた宣伝など災害に強いLPガス

の啓蒙活動を行いました。熊谷千葉県知事、金坂大網白里市長にFRP容器の使い勝手の良さをアピールさせていただきました。晴天に恵まれ多くの来場者に対面によるLPガスの利便性や安全性の広報活動ができ、実りのある1日を支部のメンバーと共に共有できました。ご協力ありがとうございました。

また、白里海岸で行われた訓練は手際よいライフラインの復旧や倒壊した家屋や車に閉じ込められた被災者の救出訓練など見ごたえ

のある訓練に感動しました。

これを機会に災害時は自治体などに協力して被災地の迅速な復興に尽力することが我々エネルギーに関わる事業者として常に念頭に置いて準備しておかなくてはならないと改めて感じました。



左側：金坂大網白里市長
右側：熊谷千葉県知事



【山武支部、集合！！】

染谷安則野田支部長へ緊急インタビュー！！

11月9日(水)に当協会野田支部へ取材をしてまいりました。取材を快く引き受けていただいたのは、染谷安則野田支部長です。

本年11月7日に、野田支部は野田市と地域住民の異変情報提供に関する協定を締結いたしました。この協定内容は、新聞等が郵便受けに3日以上たまっている状態、家の明かりが何日もついたらまた消えたままの状態で、昼間でも何日も雨戸が閉まったままの状態で、地域住民の家庭の異変を発見した場合には、野田市へと連絡するというものです。

この協定は、野田市の民生委員である染谷支部長の取り計らいにて実現した協定であります。染谷支部長はこの協定の活動によって地域福祉の向上に寄与することを通して、LPガス販売店の社会的地位を向上させたい、と語られました。

また、その他の話題としてLPガス販売店は、現代に合わせた変革が必要であるとお話されました。

「例えば、クレジットカード支払いの導入である。支払い手数料が自社負担というデメリットがあるが、お客様にはクレジット

カード使用によるポイント取得のメリットがある。だからこそお客様サービスとして手数料というデメリットは飲み込み、次の取引機会へと繋げることができるというメリットこそが重要である。」と染谷支部長は語られました。

今回の取材は、当協会が現在行っている普段のLPガス業務を通じて空き巣等の犯罪防止のための「見回り」、高齢者等への「見守り」を各自治体等と連携を図り実施する新規事業への参考となるものであるとともに、我々LPガス販売店の今後を見据えた意見を伺うことができました。

とても有意義な取材となりました。



【染谷安則 野田支部長】

インタビュー：佐久間厚佑 記

算数には「たし算・引き算・かけ算・わり算」があります。たす(+)は、「たすけあう」ことです。地域の方々と協力し助け合うことで、より大きな力を発揮することができます。ひく(-)は、「ひきうける」ことです。ひとが嫌がることを快く引き受けることで、互いに喜び合

える関係がつけれます。かける(×)は、「声をかける」ことです。挨拶を含め、優しい言葉や励ましの言葉をかけることによって、互いに心が一つになれます。わる(÷)は、「わけあう」ことです。地域の方々と喜びや悲しみを分かち合うことで、相手の心は和んで笑顔が返ってきます。「+たすけあうと大きな力に、-ひきうけると喜びが生まれ、×声をかけると心が一つになり、÷わけあうと笑顔

が返ってくる」これを「人を笑顔にする算数」といいます。

今年度から我々公益社団法人千葉県LPガス協会は「見回り見守り」事業を展開しております。

この「人を笑顔にする算数」が、我々の事業を推進する上でキーワードになるかもしれません。

記 染谷 安則

空家の充てん容器は必ず撤去しましょう！